

令和2年第14回教育委員会定例会（秘密会）

開会年月日 令和2年7月28日（火）
場 所 教育委員会室

出席者 教育委員会 教育長 河 口 浩
同 委 員 坂 口 節 子
同 委 員 高 柳 誠
同 委 員 新 井 良 保
同 委 員 中 田 尚 代

議 題

3 答申

- (1) 中学校教科用図書の調査研究について
- (2) 小学校特別支援学級調査委員会及び中学校特別支援学級調査委員会からの教科用図書に係る答申について

会議に出席した者の職・氏名

教育振興部長	木 村 勝 巳
教育振興部教育総務課長	櫻 井 和 之
同 教育指導課長	谷 口 雄 磨
同 学校教育支援センター所長	小 野 弥 生
こども家庭部子育て支援課長	山 根 由 美 子

- (1) 中学校教科用図書の調査研究について

教育長

それでは、答申(1)「中学校教科用図書の調査研究について」から始める。

本年4月に設置をした中学校教科書協議会では、令和3年度から使用する中学校教科用図書に関する調査研究を行っていただいた。

それでは、中学校教科書協議会から、答申内容について説明を受けたい。中学校教科書協議会会長の入室をお願いする。

大石中学校教科書協議会会長（中村中学校長）入室

教育長

それでは、中学校教科書協議会会長の大石会長から答申内容の説明をお願いする。

中学校教科書協議会会長

それでは、中学校教科用図書の調査研究について説明する。

資料3をご覧ください。令和2年4月10日付で、教育委員会から諮問を受けた。令和3年度から使用する中学校教科用図書について、教科書協議会では慎重に調査研究を重ね、7月22日に答申を提出した。

今回対象となる教科用図書は、令和元年度に文部科学大臣による検定を経た図書であり、総数は69種145点に上る。答申にあたっては、「練馬区教育委員会の練馬区立学校教科用図書採択要綱」の規定に基づき、まず、新規検定本の教科用図書について、調査委員会に対して調査研究を依頼した。その後、調査委員会からの調査研究内容を参考に、実際に図書を手に取り、慎重に調査研究内容の整理を行った。

平成29年に改訂され、令和3年度に全面的に実施される、新しい学習指導要領においては、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、次の3点の実現を図り、生徒に生きる力を育むことを目指すものと示されている。

1番目に、基礎的、基本的な知識および技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。

2番目に、道徳教育や体験活動、多様な表現や鑑賞の活動等を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努めること。

3番目に、学校における体育・保健教育に関する指導を、生徒の発達段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めることとされている。

各教科、各出版社とも、以上の観点に重点を置いて、それぞれ構成や内容に特色を出している。

今回、どの教科用図書もデジタルコンテンツを取り入れているものが多かったことも特色として挙げられている。目次などに2次元コードや出版社のURLのアドレスを掲載し、それを読み取ると動画や資料などを見ることができた。

一方で、デジタルコンテンツが教師用の指導書として使えるものもあり、いろいろと工夫されている。

また、ユニバーサルデザインのフォント、カラーユニバーサルデザインを採用し、視覚的に工夫されている教科用図書も大変多く増えている。

現在使用されている教科書との変更点として、冒頭お伝えしたように、新学習指導要領にある主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業作りができる工夫をどの教科用図書も取り入れている。

外国語については、小学校の学びのつながりから、小学校での既習単語等を掲載したり、関連づけている教科用図書も多く見られる。そして、どの教科の教科用図書においても、SDGs、持続可能な開発目標についての題材、話題を取り上げている。

また、これからの社会生活への対応等について、例えば、技術家庭の家庭分野においては、クレジットカードの仕組み等についてもこれまで以上に取り上げている。

協議会の報告は、資料3を1枚おめくりいただき、別紙1の1ページから58ページまで、種目ごとに記載している。お目通しいただきたい。

最後に審議の経過等について説明する。答申書の59ページ、最後のページをお開きいただきたい。令和2年度中学校教科書協議会の開催状況および委員名は記載のとおりである。

以上、答申内容について、ご説明させていただいた。よろしくお取り計らいいただくようお願いしたい。

教育長

ありがとう。コロナ禍で大変なときだったため、協議会もご苦労だったと思う。

それでは、ただいま説明のあった答申内容について、各委員から何かご意見、ご質問あれば出してほしい。いかがか。

高柳委員

本当詳しく各教科の答申を頂きありがとう。本当よく分かるし、一つ一つの教科を詳しく調べられていて大変勉強になる。

1つ、教えていただきたいのだが、大石会長からもあったように、デジタルコンテンツについて。資料の「使用上の便宜」の欄にいろいろな教科のこういうところで活用できるとか、こういうふうに使うことができるとか述べられているが、今もいろいろなICTの教材入っているが、これからタブレットが全員配付になるということで、これからますます使用が日常的なものになるし、当たり前のことになっていくと思う。

大石会長から見て、ICT活用、特にタブレットを活用するにおいて、現在どういう教科で具体的にどのようなようにも使って、また、これからこういうように使われるというのが予想されるなど、もし特徴的なことがあれば、いくつかの教科で教えていただければありがたい。

中学校教科書協議会会長

中学校の中では資料等を活用しながら子供たちの興味関心を高めるということがこれまで以上に求められているところかと思っている。その中で、教科を具体的にいくつか挙げると、社会、理科、保健体育。先ほどカラーユニバーサルデザインと言いましたが、ユニバーサルデザイン的なことからしても、全ての子供たちが興味関心を持てるようにといったところでは、デジタルコンテンツが二次元バーコード等含めて必要になってくるのかと思っている。

特に、今後コロナの状況の中で、自宅で学習を進めていくといったときには、ただ単に与えられた課題だけではなく、このようなデジタルコンテンツや二次元バーコード等を用いて、こういうところにつながりがあるのかとか、こっちの教科のこういうところにもつながりがあるのかということなど、横断的な学習にもつながっていくのかなというふうに思っているところで、大変有効な手段であると考えている。

これは、いくつか教科を挙げさせていただいたが、全ての教科につながっていくものではないかと思う。

教育長

ほかはいかがか。

坂口委員

お忙しい先生方がこれだけ、真剣に向き合ってくださいだったということが、この内容に表れている。熟読させていただいた、ありがとう。本当に大変であった。

最後ページの委員であるが、例えば、技術・家庭の審議には、技術・家庭の先生が関わっていたのか。答申の内容の中に、こういう見方があったのかと私は気づかされたりしたのものがあるから、どのような専科の先生方がこれに向かい合われたのか聞きたく思ったが、いかがか。

中学校教科書協議会会長

ほぼ各教科の教員が入っているが、ただ、家庭科等については、どうしても該当する教科の担当が入れなかった。そのため、他教科から教員が入って調査内容を協議会の中で報告し、また、協議会の協議委員の中で全て協議をしたということである。

坂口委員

ありがとう。

教育長

ほかいかがか。よろしいか。

それでは、各委員からの質問も終わったため、大石会長にはご退室をいただきたいと思う。ありがとう。皆さんにもよろしくお伝えいただきたい。

大石中学校教科書協議会会長（中村中学校長）退室

- (2) 小学校特別支援学級調査委員会及び中学校特別支援学級調査委員会からの教科用図書に係る答申について

教育長

それでは、続いて答申の(2)「小学校特別支援学級調査委員会及び中学校特別支援学級調査委員会からの教科用図書に係る答申について」に移る。

特別支援学級で使用する教科用図書については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行例の15条及び学校教育法附則第9条の規定により、毎年度採択替えができることとなっている。そのため、本年4月に特別支援学級教科用図書の採択に係る調査委員会を設置し、調査検討をお願いしてきた。

それでは、小学校・中学校それぞれの調査委員会委員長の入室をお願いする。

永井小学校特別支援学級調査委員会委員長（豊玉第二小学校長）

大槻中学校特別支援学級調査委員会委員長（谷原中学校長）入室

教育長

お二方、お忙しい中おいでいただきありがとうございます。それでは早速であるが、最初に永井小学校調査委員会委員長から答申内容の説明をお願いします。

小学校特別支援学級調査委員会委員長

それでは、小学校特別支援学級教科用図書の調査研究について、説明させていただく。令和2年4月10日に教育委員会から諮問を受けた。令和3年度使用の特別支援学級教科用図書の調査研究について、小学校特別支援学級調査委員会は7月22日に教育委員会に答申を提出した。以下、この答申内容について説明させていただく。

資料4-1をご覧ください。小学校特別支援学級調査委員会は、特別支援学級を設置している16校、各校に設けられた各校研究会に対し、学校教育法附則第9条に係る図書の研究を依頼した。その後、各校研究会からの報告書等を参考に、6月から3回会議を開催し、慎重に研究・検討を行ってきた。

では、1枚おめくりいただき、次のページ別紙1をご覧ください。調査研究を行った図書数であるが、各学校の意向を踏まえ、179冊の図書を調査研究した。この内訳であるが、179冊のうち、継続採択候補図書164冊、新規採択候補図書15冊である。種目ごとの冊数および図書名等の詳細については、5ページ以降に掲載しているため、お目通しいただきたい。

図書の調査研究に当たっては、各研究校の報告を参考に、児童にとって適切であるかどうか、図書の内容を整理し、調査研究した。

続いて、新規採択候補図書について説明するが、冊数が多いため、主な観点について説明する。

国語については、(1)と(2)の2冊を調査研究した。(1)は既に採択されていた第5版の改訂があり、第6版が引き続き、児童が漢字を習得する際に授業で生かすことができる教材であるかどうか、(2)は、ことわざ、四字熟語について、今後の学習につながる教材であるかどうかという点を中心に検討した。

書写は、(3)から(6)の4冊である。いずれも書き方のポイントや筆順が分かりやすく説明されているかどうかを中心に検討した。

算数は、(7)の1冊である。日常生活で算数的な内容を活用する場面が多く取り上げられていた。

図画工作は、(8)の1冊である。絵の具の表現方法が多く載っており、児童の興味や関心につながると考えた。

保健体育は、(9)の1冊である。めくり式の仕掛けやイラストが興味を引き、児童に分かりやすい内容となっている。

生活は(10)から(12)の3冊である。(10)は、季節ごとの行事や生物について分かりやすく解説されており、1年を通して活用できる。(11)は、生活に身近な内容であり、親しみやすいイラストが入っている。(12)は、テーマごとに整理されており、学習したい場面を絞って活用できる。

最後に道徳は、(13)から(15)の3冊である。いずれも身近なテーマで親しみやすい物語となっており、興味・関心を持って読むことができる。

参考資料として、15ページから、各校研究会の研究報告である令和3年度使用小学校特別支援学級教科用図書研究報告一覧を添付している。お目通しいただきたい。

続いて、29ページ。最後のページになるが、別紙2をご覧いただきたい。小学校特別支援学級調査委員会の審議の経過などをお示ししている。

以上で小学校特別支援学級調査委員会の答申説明を終わる。

教育長

続いて、大槻中学校調査委員会委員長から答申内容の説明をお願いする。

中学校特別支援学級調査委員会委員長

それでは、中学校特別支援学級教科用図書の調査研究について、説明をさせていただきます。令和2年4月10日に教育委員会から諮問を受けた。令和3年度使用の特別支援学級教科用図書の調査研究について、中学校特別支援学級調査委員会は、7月22日に教育委員会宛て答申を提出した。

以下、その答申について説明させていただく。資料4-2をご覧いただきたい。

中学校特別支援学級調査委員会は、特別支援学級設置8校、それぞれの学校に設けられた各校研究会に対し、学校教育法附則第9条に係る図書の研究を依頼した。その後、各校研究会からの報告書等を参考に、6月から3回会議を開催し、慎重に研究・検討を行ってきた。

では、1枚おめくりいただき、別紙1をご覧いただきたい。調査研究を行った図書数であるが、各学校の意向を踏まえ、62冊の図書を調査研究した。内訳は、継続の採択候補図書44冊、新規の採択候補図書18冊である。

各教科の冊数の内訳については、7ページ。また、種目ごとの図書名については、9ページ以降に掲載しているため、お目通しいただきたい。

図書の調査研究に当たっては、各学校からの研究報告を参考に、生徒にとって適切であるかどうか、図書の内容を整理し、調査研究した。

続いて、新規採択候補の図書について説明するが、冊数が多いため、主な観点について説明する。

国語は、(1)と(2)の2冊ある。(1)はイラストも豊富で、漢字の成り立ちについて学ぶことができる。また、(2)は、コミュニケーションに必要な「聞く・話す・書く」を横断的に学べる構成となっている。

数学は、(3)の1冊である。身近にあるものを活用しているため、実生活で役立つ内容となっている。

理科は、(4)の1冊である。進化論の構築を向かうまでを、絵で分かりやすく学んでいくことができる。

音楽は、(5)と(6)の2冊である。どちらも特別支援学級の生徒には少々難しい部分もあるが、歌うときのポイントが朱書きされるなどの工夫があり、生徒の特性を生かした活用が可能である。

美術は、(7)の1冊である。色彩が分かりやすい構成となっており、文字が苦手な生徒にも受け入れやすい内容である。

保健体育は、(8)と(9)の2冊である。いずれもイラストやキャラクターを活用し、分かりやすく、生徒が興味を持ちやすい内容である。

技術は、(10)と(11)の2冊である。どちらもワークシート形式を取り入れ、実生活をイメージしながら学習できるようになっている。

家庭は、(12)から(14)の3冊である。いずれも写真やイラストで分かりやすく説明されており、衣食住に興味を持たせる内容となっている。

英語は、(15)と(16)の2冊である。どちらもCD付きである。(15)は、暮らしの中ですぐに使える会話表現が絵で示されている。(16)は、既に採択されているの学習を踏まえ、難易度が少し上がっている。1章が4ページにまとまっており、飽きずに続けられそうな内容である。

最後に道徳は、(17)と(18)の2冊である。(17)は、自分や相手を知る大切さ、気持ちの伝え方などを漫画やイラストで分かりやすく示している。(18)は、仕事のやりがい、目標などをインタビュー形式で分かりやすく示している。生徒は、自分は何をしたいかを考えるきっかけとなりそうな内容である。

参考資料として、各校研究会の研究報告をまとめた令和3年度使用中学校特別支援学級教科用図書研究報告一覧を13ページから添付している。お目通しいただきたい。

続いて、19ページ、最後のページである。別紙2をご覧ください。中学校特別支援学級調査委員会の審議の経過等をお示ししている。

以上で中学校特別支援学級調査委員会の答申説明を終わる。

教育長

ありがとう。

それでは、ただいま説明があった答申内容について、各委員からご意見、ご質問あればお出しいただければと思う。いかがか。

新井委員

調査報告ありがとう。お疲れ様であった。先ほど、坂口委員からもお話があったが、我々も教科書採択に向けての準備をしているところであるが、多くの学びを皆さんの報告書から学び取ることができた。ありがとう。

具体的な質問で恐縮であるが、先ほど高柳委員からデジタルコンテンツの話があったが、私は養護学校の出身であり、養護学校のほうは障害も重いわけだが、この中で新しく新規採択された本、あるいは、今まで採択している本の中で、例えば触ると音が出てくるとか、触ると飛び出す絵本とか、そういう絵本等の採択はいかがか。重度用かと思うが。

小学校特別支援学級調査委員会委員長

触って飛び出すような仕掛けの本は、このたび調査はしなかった。ただ、動かせる仕掛けがあって、子供の興味関心を引くといったものが、例えば保健体育の(9)の教科用図

書などにはあった。

中学校特別支援学級調査委員会委員長

中学校の場合は、デジタルコンテンツというような形で、例えばQRコードなどがついているようなそういった教科書はなかった。ただ、例えば英語科については、CD付きになっているため、CDを活用すれば正しい発音や、あるいは音楽などが聞くことができる。

それから、この中の教科書の中には、イラストで分かりやすく説明をしているというようなものがある。キャラクター化して、子供たちに見やすくしているというような、そういった工夫が見られた。

新井委員

ありがとう。

教育長

ほか、いかがか。よろしいか。

それでは、質問も終了したため、永井委員長と大槻委員長には退室していただきたいと思う。

コロナ禍で大変だったと、ご苦労あったと思うので、ありがとう。

永井小学校特別支援学級調査委員会委員長（豊玉第二小学校長）、
大槻中学校特別支援学級調査委員会委員長（谷原中学校長）退室

教育長

それでは、ここからは教育委員会としての審議に入る。

各委員におかれては、特別支援学級教科用図書の見本本を点検をしていただきたいと思う。その後、会議を公開としたうえで、採択を行う。

なお、会議再開は10時50分とする。よろしく願います。

見本本点検